

# 考動

Think + Action

～当たり前的一步先へ～  
TEAM 将監東3学年

仙台市立将監東中学校  
3学年だより第10号  
令和5年10月31日発行  
文責 伊藤貴也



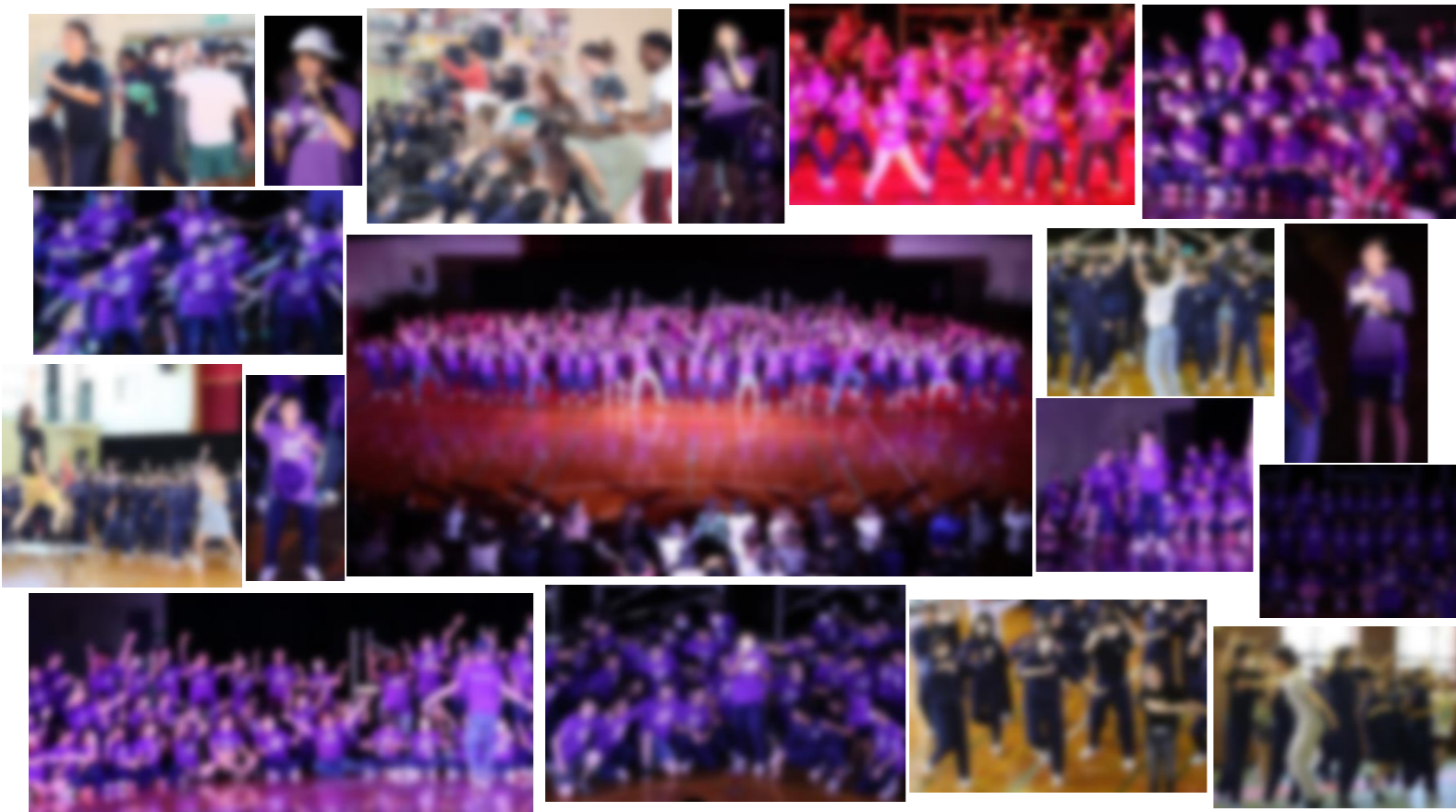
## 初めての HEART Global! Yeah~!!

「やっぱり TEAM 将監東3学年って最高!」と感じずにはいられない瞬間の連続でした。2日間かけて行った HEART Global。「一步を踏み出す勇氣」をテーマに、一人一人が次から次へと自分の殻をぶち破って様々なことにチャレンジしていく姿は、最高に素敵でとっても感動的なものでした。私が感じていた TEAM 将監東3学年の弱点は、内に秘めた思いや考え、能力はすごいのに、それをなかなかうまく表現できない、というよりはしたがないという点でしたが、これを見事に克服することができたように感じます。なによりの証拠はその後の学校生活の中にあります。以前よりもクラス、学年の雰囲気明るさを増し、ポジティブな発言や行動を見かける機会が多くなりました。授業中の挙手に積極的になった人、友人のちょっとした表情の変化に「どうしたの?」と勇氣をもって声を掛けられるようになった人、落ちているゴミを拾えるようになった人……。キャストのみなさんが伝えてくれた「Yes.and(やってみよう!)」の精神で考動できるようになった人がたくさんいます。この体験を通してみなさんが大きく成長してくれたことをとても嬉しく思います。

HEART Global 後の数学の授業で、私が各クラスで話した「次なる目標」を生徒のみなさんは覚えているでしょうか?その日をどのように迎えられるのか、それはその日までの歩み方によって決まります。みんながレベル10の感情を表現してその日を迎えることができるよう、残された1日1日を丁寧に過ごしてほしいと思っています。

とにかく素晴らしい体験をすることができた2日間。それはキャストのみなさんの熱量に負けにくい TEAM 将監東3学年のみんなが一生懸命取り組んだからこそです。おかげで私たち教員もずいぶん楽しませていただきました。やっぱり TEAM 将監東3学年は最高ですっ!!

自分に拍手!!



## 最後の運動会! 全員全開全力疾走!

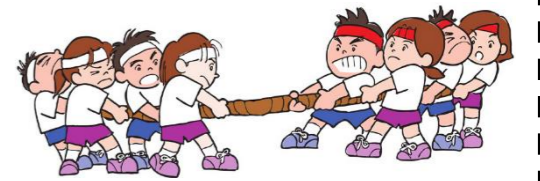
我々TEAM 将監東3学年にとって最後の運動会は、これ以上無いと言ってもいいくらいの快晴のもとで行うことができました。ほぼぶっつけ本番で臨んだ選手宣誓を抜群の演技力でやりきった S・C さんと Y・J 君。(原案を考えてくれた M・A さん、サポートしてくれた A・Y さんと K・S 君、ありがとー!)サイコロタイフーンでは、2組と3組が見せた最後の瞬間まで勝敗が分からないほどのデッドヒート。綱引きは、結審を務めた私が判断しかねるほどの僅差の勝負の連続。最終種目である全員リレーでは、何度も繰り広げられる抜きつ抜かれつの名勝負に目が離せない展開となりました。さらに、熱い勝負が展開されていたトラックの外側からは、学年やクラスを問わずに全力で応援する大声援が飛び交っていました。きっとあれだけ大きな声援を3年生からもらった1・2年生の後輩たちは、自信を持って競技に臨めたはずですよ。

中学校生活最後の運動会は、「誰にとってもいい運動会だった!」と言える素晴らしいものでした。それは全員がルールを守り、マナーを意識して各競技や応援に全力で取り組み、みんなで盛り上がり、みんなが「みんなにとっていい運動会にしよう!」という意識で臨むことができていたからです。行事に一生懸命取り組むのは当たり前。TEAM 将監東3学年のみんなは、また一つ「当たり前的一步先」の景色を見せてくれました。この運動会をもって三行事はすべて終了し、いよいよ中学校生活の締めくくりが見えてきましたが、我々にはまだまだ大きな伸びしろがあるはず。今回の経験を糧に、更なるレベルアップを目指して頑張ろう!

### 最終成績



- 縦割り選抜リレー 1位: 3組 2位: 2組 3位: 1組
- サイコロタイフーン 1位: 2組 2位: 3組 3位: 1組
- 綱引き 1組 VS 2組 (0-2) 2組 VS 3組 (1-1) 3組 VS 1組 (2-0)
- 長縄 1組 (22回, 46回) 2組 (19回, 44回) 3組 (37回, 43回)
- 全員リレー 1位: 2組 2位: 3組 3位: 1組



★総合順位 1位: 2組 2位: 3組 3位: 1組





# 早くも11月…。 気持ちの切り替えを！

日	曜	予 定		授 業						給食
1	水	3年二者面談③	45	1	2	3	4	面談	○	
2	木	3年二者面談④	45	金1	金2	金3	金4	面談	○	
3	金									
4	土									
5	日									
6	月	C週スタート	50	1	2	3	4	5	6	○
7	火	3年中間考査 2年職場体験	特	国	数	社	英	理	×	○
8	水	2年職場体験 学年レク大会	50	1	2	3	4	学年レク	○	
9	木	2年職場体験 1年講演会	50	1	2	3	5	4	6	○
10	金		50	1	2	3	4	5	6	○
11	土									
12	日									
13	月	防災訓練	50	1	2	3	4	5	6	○
14	火		50	1	2	3	4	5	6	○
15	水	1年地域清掃	50	1	2	3	4	5	6	○
16	木	職員会議	45	1	2	3	4	5	6	○
17	金	地域清掃予備日 テスト前部活中止	50	1	2	3	4	5	6	○
18	土									
19	日									
20	月	12年中間考査	特	1	2	3	4	5	×	○
21	火		45	1	2	3	4	5	6	○
22	水	全校道徳	50	1	2	3	4	5	道	○
23	木									
24	金	ファイナンスパーク(3年)	50	1		FP	4	5	6	○
25	土									
26	日									
27	月		50	1	2	3	4	5	火6	○
28	火	1学年行事	50	1	2	3	4	水5	月6	○
29	水	三者面談	45	1	2	3	4	火5	×	○
30	木	三者面談	45	1	2	3	水6	5	×	○

## ～進路説明会(10/27)について～

先週行わせていただいた進路説明会には、多くの保護者の皆様に来校いただきありがとうございました。当日は4つの高校の先生方にもお越しいただき、各校の特色等について書面だけでは伝わりきらないような内容についても説明いただきました。時間が限られていたため駆け足での説明となってしまいましたが、まずはお渡しした「進路説明会資料」を熟読していただければと思います。以下は、説明会当日にお話しさせていただいた内容、または資料に載っている内容をクイズ形式で並べてみたものです。ぜひご家庭でお子様と一緒にご確認ください。



## ～問題～

- Q1：私立高校の「特待生」や「奨学生」などになれるチャンスは、私立特別入試しかない。  
 Q2：私立一般入試の結果を見てから公立高校第一次募集の受験校を決めたい。  
 Q3：公立高校の第一次募集を受験する際の受験料(2200円)は、生徒を通して中学校に提出する。  
 Q4：国立高専を受験して不合格だった場合は、公立高校の第一次募集を受験することができる。  
 Q5：私立一般入試のA日程で「■■高校」、B日程で「▲▲高校」の2つの高校に合格したので、一時納入金を両方の高校に納入した。  
 Q6：私立の「●●高校」が第一志望なので、1/10の特別入試を自己推薦で受験することにした。もし不合格だった場合は、私立一般入試で「◆◆高校」に出願しようと思っている。  
 Q7：将監東之介さんの3年間の評定は下の表のようであった。この場合、東之介さんは以下のような条件の私立高校を受験することは可能である。

**条件** 3年間の評定平均が3.5以上、または3年次の評定平均が3.8以上であること。

	国語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	保体	技家
1年	2	5	3	3	4	3	2	3	2
2年	3	4	2	2	3	3	2	3	2
3年	4	5	3	4	5	4	3	4	3

～解答～

A1：×(私立高校によっては、私立一般入試でも入試の点数が優秀であったりする場合に「特待生」や「奨学生」として採用されることもある。)  
 A2：○(可能。ただし検討できる日数は1～2日間のみなので、様々なケースに対しての公立受験校は事前に決めおくこと。)  
 A3：×(各自で収入証紙【2200円分】を購入し、願書に貼付して中学校に提出する。)  
 A4：○(公立高校の第一次募集に出願はしており、国立高専に合格した場合は公立高校に受験料退還を提出する。)  
 A5：×(2つの高校のうち、自分が興味のある1校にのみ納入する。【両方に納入してもかまわないがお金のムダ】)  
 A6：×(私立は1/10の特別入試と、1/30と2/1の一般入試を同時に受験校を決めます。よって、特別入試の結果を見てから私立一般入試の受験校を検討することはできません。)  
 A7：○(3年間の評定平均は3.2だが、3年次の評定平均が3.9なのでクリア。)